

# 電機・情報ユニオン

2021年8月10日 第119号

発行 電機・情報ユニオン

〒142-0043 東京都品川区二葉

2-20-8染野ビル2F

Tel03-6421-5323、Fax03-6421-5324

Email: denkiunion@gmail.com

## 三菱電機 広がるたたかい

愛知支部と三菱電機派遣切り争議を勝たせる会は8月1日(日)、愛知民主会館で三菱電機「派遣切り・パワハラ団交」報告会を開催し、会場に21名、オンラインに11名の32名が参加しました。

最初に愛労連の谷藤賢治副議長と名古屋三菱・朝鮮女子勤労挺身隊訴訟を支援する会の高橋信共同代表から、連帯のあいさつを受けました。

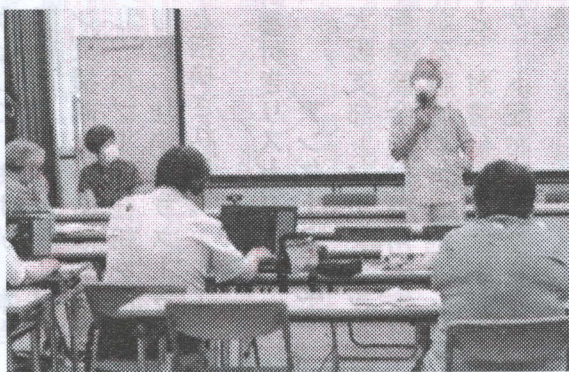
### 国際労働基準を活かして三菱電機と初めて団体交渉

電機・情報ユニオンの米田徳治中央執行委員長は「『人権の尊重』を据え、大企業と団体交渉権の活用で電機リストラ・パワハラとの闘い」と題した基調報告を行いました。

米田委員長は、初めに大企業トヨタの牙城である愛知で三菱電機との団交が実施できたことの意義を強調し、止まることがない電機リストラとその背景を豊富な資料を基に説明。そして、電機・情報ユニオンの闘い方として国際労働基準IIビジネスと人権の指導原則、ハラスメント条約などを活

用して団交や職場に活かす活動が三菱電機との団体交渉でも活かされていることを紹介しました。

愛知支部の成木彦朗委員長は、第1回目の団体交渉内容として、①団交対応を名古屋製作所になつている問題点の追及と三菱電機本社を代表する代理人を明示させた取り組み ②基本的要求に関するやり取り ③M組合員に対するパワハラに対する質疑を紹介し、成果として、①人事とのホットラインの開設 ②パワハラ改善としてかつての加害者を別フロアに移させた取



8月1日(日)

三菱電機報告会

り組みを報告しました。三菱電機派遣切り争議を勝たせる会の本田直子事務局長と藤崎俊子支部書記長は、三菱電機株主総会での取組みの経過と成果を報告し、長年の取り組みで株主総会での参加者発言と会社答弁の変化を報告しました。

私も団体交渉でたたかいます 3名から決意や思いの表明がありました。

派遣切りで闘う田中さんは、派遣切りにあつた当時の気持ちと12年間のたたかいを報告し、「要請を三菱本社も名古屋製作所も社内会議室で受けさせるという11年目での新たな変化をつくり出した。最後まで闘う」と決意を述べました。

パワハラ団交当事者のM組合員は「10年余にわたるパワハラに悩み続け、色々な所にも相談したが相手にして貰えなかった。愛労連から電機・情報ユニオンに相談・加入して、本当に団交までやってくれる労働組合があることが信じられなかった」と述べました。

M組合員と同じ事業所内で働く三菱電機グループ会社のK組合員は、入社2年

目から続くパワハラに悩みながら体調を崩した経過を語り、「初めはこれがパワハラとは思わず、自分が悪いのではないかと、自分で何とかしなければいけないと自己責任に追いやられ、休職と復職を繰り返した。今春の復職では大幅な降格処分となり30%を超える賃金ダウンになった。私も必ず団体交渉を行ってたたかいます」と決意を述べました。

オンライン参加者からは「10年経っても許せないという女性の話に感動し納得しました」「三菱電機での取り組みは成果も生み出して大きく前進している」などの感想が寄せられました。(愛知支部中央執行委員長 成木彦朗)

### 第119号の紹介

- 1面 三菱電機 広がるたたかい
- 2面 パナソニックリストラアンケートを配布  
米田委員長メッセージ96
- 3面 第11回定期大会を成功させよう
- 4面 交流のひろば、告知板、あとがき

# パナソニックの連結従業員を配布

2011年に4万人のリストを強行して電機産業の大リストの口火を切ったパナソニックはこの10年間、プラズマテレビ、半導体、太陽電池などの事業撤退を繰り返し、その連結従業員を11年の36万6937人から21年の24万3450人と12万3487人も減少させています。直近でも、一昨年は1万2484人、昨年は1万5845人を減少させています。

## 特別キャリアデザインプログラムを提案

パナソニックの労政部・戦略人事部は3月25日、「従業員が多様な価値観を尊重し、自律的なキャリア形成を支援するために特別キャリアデザインプログラムを期間限定で導入」することを社内情報で発表しました。

会社は、社外に活躍の場を求めチャレンジする従業員に対して最大限の支援を

行うとしていますが、本当の狙いは、既存のライフプラン支援制度を限定的に拡充し、バブル入社組を標的にした「壮絶なリストラ」策と指摘されます。

封書付きリストラ アンケートを配布

大阪支部とパナソニック革新懇談会は、雇用不安が広がる職場の声を把握しようとして、封書付きリストラアンケート配布を取り組みました。

# 電機・情報ユニオンに加入 声をあげてこそ改善の道が開ける

5月27日、三菱電機本社

会議室で電機・情報ユニオンから組合・組合員の通知と団体交渉の申し入れを行いました。内容は深刻なパワハラ事件です。

その日のうちに厚生労働省で記者会見を行い明らかにしました。

この間、三菱電機では35年間にわたる長崎製作所での品質・検査不正事件が発覚。社員説明会に来た長澤

専務に対して、「上司からパワハラを受け、うつ病になり労基署に弁護士と相談している」「会社の隠蔽対応を受けている。すべての開発を止めてでも業務を見直すべし」との質問が出されるなど、パワハラが他職場でも起きていたという。

三菱電機社長宛の団交申入れに対し、6月10日付で三菱電機名古屋製作所の総務部人事課長からの「受諾

回答」がありました。「受諾回答書」が三菱電機本社から発出されていないことから、その真意をめぐって、電機・情報ユニオン本部が社長室、本社人事部、名古屋製作所総務部人事課と折衝した挙句、やっと「名古屋製作所の人事課を本社人事課の窓口とする」ということで合意にこぎつけ、団交を開始することとなりました。

第一回目の団体交渉は7月8日。組合側は本人、愛労連議長を含め6名が臨みました。会社側は人事課長以下3名、代理人弁護士3名と異例の団交となった。

## 米田委員長メッセージ 96

上司から「パワハラ加害者を別フロアへ移動させる」旨の説明があったという事です。



該当の組合員から、「この十数年にわたり、私の提案など聞く耳を持たなかったが、今『動き始めた』と実感した。上司の態度も柔和になった」という嬉しい報告がありました。

